

—— 安心の提供と震災からの早期復興のために ——

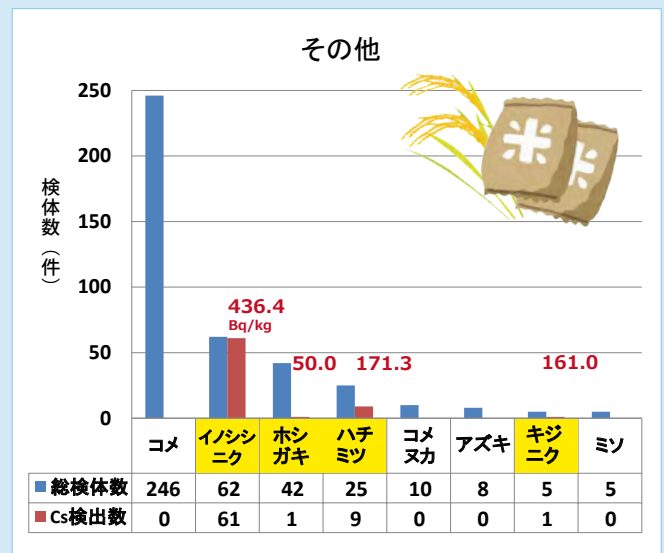
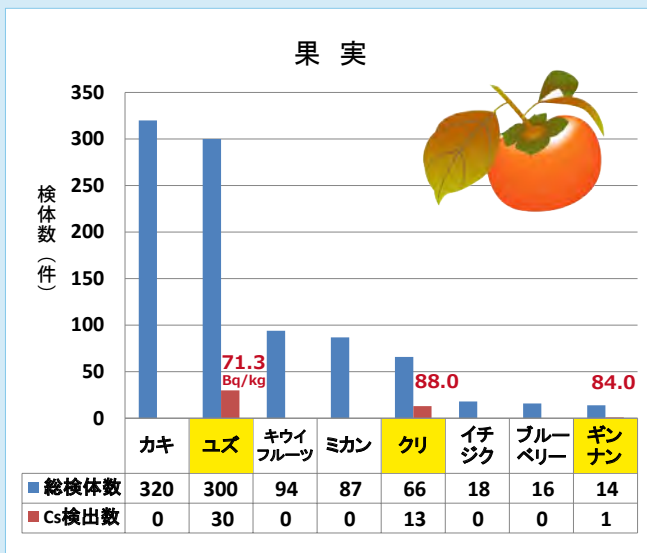
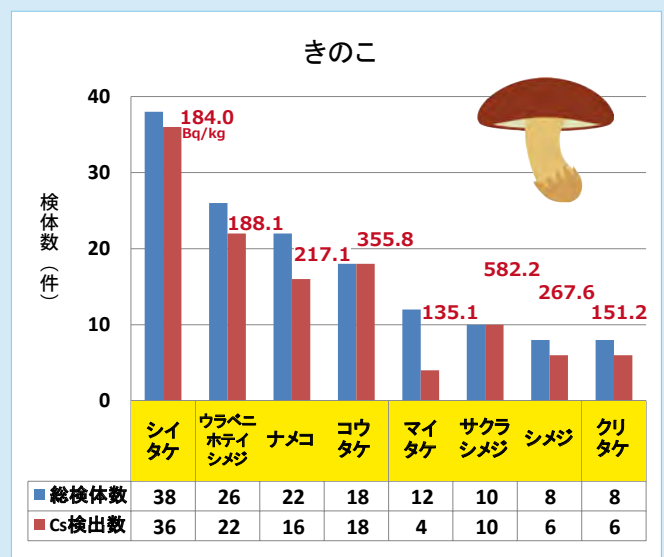
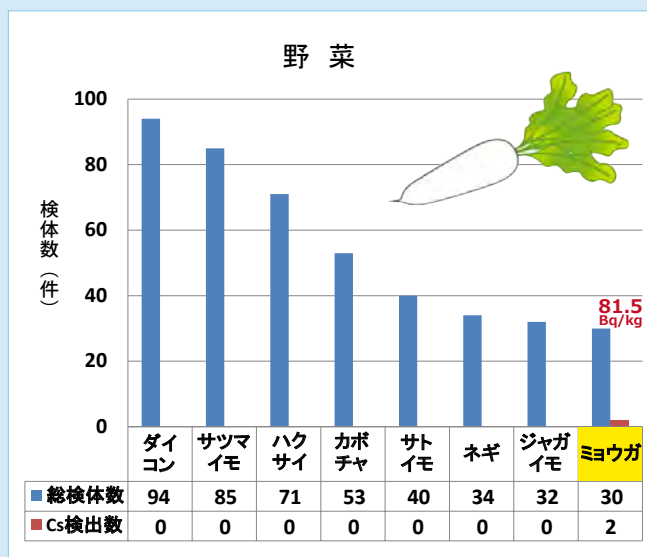
いわき地域復興センターは、「いわき明星大学と東日本国際大学」が連携して、いわき地域に対する震災復興活動を行う拠点として設立されました。「福島県いわき地域の大学連携による震災復興プロジェクト」をテーマとして、両大学が持ついわき地域の魅力の再生に直結する専門性を提供することで、震災からの早期復興を目指します。

- 【事業の4つの柱】
- I 放射線・放射能測定及び軽減に関する研究事業
 - II 震災記録の保存事業
 - III 被災地の情報発信による観光まちづくり事業
 - IV 被災障がい者自立支援促進事業

特集

平成25年 秋・冬の作物 放射能検査結果

いわき地域復興センターでは、平成24年4月の開所以来、さまざまな種類の作物について検査して参りました。今回は、作物の種類による放射性セシウムの検出傾向を探るため、秋・冬の作物を4つのカテゴリーに分類し、検査結果を集計しました。品目については、総検体数の多いものから順にピックアップして掲載しております。尚、集計には平成25年9月1日～12月27日に測定されたいわき市全体の検査結果を使用しております。



■ 総検体数 ■ Cs検出数 (Cs…ここでは放射性セシウムを意味する。なお、50Bq/kg未滿は不検出とする) 赤数値…検出された放射性セシウムの平均値 (Bq/kg)

